

あらためて、県民の皆さんに呼びかけをさせていただきたいと思います。

(資料を掲示) 今日の1人当たりの感染者数は54件ということで、過去最多となります。直近の感染状況とあわせて申し上げたいと思います。今日、54名、うち37名が鈴鹿中央総合病院の新たなクラスターの方々でありますけれども、54名ということです。直近の感染状況でありますけれども、こういう1週間、こういう推移をしてきておるわけですけれども、医療機関、社会福祉施設、事業所などでクラスターが発生していて、1月に入って8つの事例で、クラスターが発生をしています。この新規感染者の約4割が、クラスター関連という形になっています。

それから外国籍と思われる方も増加をしていて、直近1週間で約25%というようなことでもあります。感染者数は、依然として高水準で予断を許さないという状況にあるということでもあります。瀬戸際は続いている、ということでもあります。

一方で、緊急警戒宣言を発出してから1週間経ちました。県民の皆さんに本当に、心苦しいお願いをさせていただきながら、一緒に取り組んでいただいたおかげで、例えば、例えばですね、新規感染者数は、前の1週間とこの1週間で減少しました。0.89倍です。病床使用率も64.1%から55.5%。県外の由来も、ここ緊急警戒宣言で、県境をまたぐ移動を控えてくださいとお願いさせていただいて、感染の県外由来が29%から12%。また、大人数、長時間の飲食を避けてください、とお願いをさせていただき、飲食の場については31%から14%。こういう形で減っています。ですので、県民の皆さんの努力は、間違いなく、成果に結びついてはいるんですけれども、今日クラスターの事例とかもあります。少しのことで、急激な感染拡大が起こる状況、瀬戸際はまだ続いています。どうか引き続き緩めることなく、一緒に感染防止対策取り組んでいただきたいと思いますし、緊急警戒宣言に基づく取り組みをぜひお願いをしたいと思います。まだまだ緩められる状況じゃありません。瀬戸際は続いています。

守っていただきたい、一緒に取り組んでいただきたい取り組みでありますけれども、緊急警戒宣言の中身をあらためてと、今回今日、特に次の4つの点についてお願いをさせていただきたいと思ってるんですけれども、緊急警戒宣言は、あらためてですけれども、県内全域にお願いをしています。営業時間の短縮をお願いしている地域だけが宣言地域ではありません。県内全域で、感染防止対策に徹底して取り組むということをお願いしております。その中で、県民の皆様には、大人数、長時間に及ぶ飲食は避けてください、県境を越える移動は避けてください。事業者の皆様には、桑名市、四日市市、鈴鹿市の酒類を提供する飲食店等において、21時までの営業時間の短縮をお願いをしています。

そして直近のクラスターなどにも関連しますが、医療機関、社会福祉施設などのクラスターを発生している施設では、感染防止対策をあらためて、あらためて徹底をしていただきたいと思いますし、従業員、利用者の皆さんにも、あらためて持ち込まない、広げない、そういう対策をお願いをしたいと思います。

また外国人を雇用する事業者、関わりのある団体の皆さんには、外国人の方への丁寧な周知をお願いしたいと思っておりますし、県としましては、市町と連携をした、外国籍と思われる方の感染が発生した際の初動対応などでとるべき措置等について、今詳細をつめておりますけれども、2月補正でさらなる対策強化を挙げていきたいと考えております。

この医療機関、社会福祉施設、あと事業所などでもそうですけれども、体調が悪い中で引き続き勤務を続けておられる、もちろん使命感とか、自分が抜けたら仲間には迷惑がかかってしまうかもしれないという、そういう辛いお気持ちであるのは重々重々承知なんですけれども、こういう状況ですので、体調の変化がありましたら、無理せずしっかり診療していただく、検査をしていただく、そういうなどの対応を取っていただいて、ご相談等していただく、そういう対応をとっていただきたいと思います。本当に、仲間との関係で穴をあけられないという思いは本当によくわかるんですけれども、その点、ぜひご協力をいただきたいと思います。

それから直近のクラスターの事例でもありました、「居場所の切り替わり」です。

例えば業務、作業を仕事をする時にはしっかり感染防止対策をとっていただいているにもかかわらず、例えば休憩スペースとかで、距離が近くなりマスクを外して、大きな声で会話をする。あるいは昼食をとるときに、マスクを外してたくさん長く会話をする。そういうようなことがあります。

ですので、この休憩中、昼食時なども感染防止対策を徹底する、人と距離を取っていただいたり、食べてるとき以外はマスクをつけていただくなどお願いしたいと思いますし、各事業所の皆さんにおいては、派遣社員の方や、実習生の方も含めて、ぜひ、丁寧な周知徹底を、感染防止対策の徹底をお願いしたいと思います。

それから今申し上げましたとおり、医療施設、社会福祉施設、それから外国人の方のこと、居場所のことを3つ申し上げました。最後、お願いの4点目ということでもありますけれども、あらためて、医療従事者、あるいはそのご家族、あるいは県外からお越しになった方、外国人住民の方などへの誹謗中傷、偏見差別、絶対に行わないでください。

医療施設とか社会福祉施設のクラスターが相次いでいますけれども、そういう医療従事者の皆さんたちも、最前線で本当に不安の中で、これまでも頑張ってきていただいておりますので、どうかそういう皆さんへの偏見差別、またそういう方のご家族に対する偏見差別は絶対にしないようにお願いしたいと思います。

それから、お願いは今の4点でありますけれども、今日発表させていただいた鈴鹿中央総合病院のクラスターへの対応については、昨日も少し申し上げましたが、次長の方から申し上げましたが、クラスター対策グループを当該病院に派遣をし、保健所とともに感染経路の特定、それから必要な検査を随時実施し、施設内の消毒やゾーニング、あるいは医療従事者の方の負担軽減など速やかに対策を講じてまいります。

以上、いろいろ申し上げましたけれども、本当に今、県民の皆さんのご努力いただいたことが、成果に結びつくということは、これまでの経験からもそうなので、ぜひ一緒に取り組んでいただきたいんですけども、まだ楽観できる状況でも、気を緩める状況でもありません。瀬戸際は続いています。大変心苦しい、苦しいですけども、ぜひとも一緒に、引き続き取り組んでいただきたいと思います。

これまでの取り組みに感謝申し上げつつ、再度のお願いで大変心苦しいところではありますが、ぜひとも一緒に取り組んでいただきたいと思います。

私の方からは以上です。